

総合計画上の位置付け

施策の大綱	市民参画の推進	施策の目的	参画と協働の仕組みをつくり、活動の輪を広げる	施策	市民協働・コミュニティ活動・男女共同参画
-------	---------	-------	------------------------	----	----------------------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
市民協働の推進	NPO団体の事務事業	市民と共に考える課
	市民協働研修事業	市民と共に考える課
コミュニティ活動組織の育成と活動の活発化	自治会活動推進事業	市民と共に考える課
男女共同参画の推進	男女共同参画講演会等の開催	人権推進課

目標

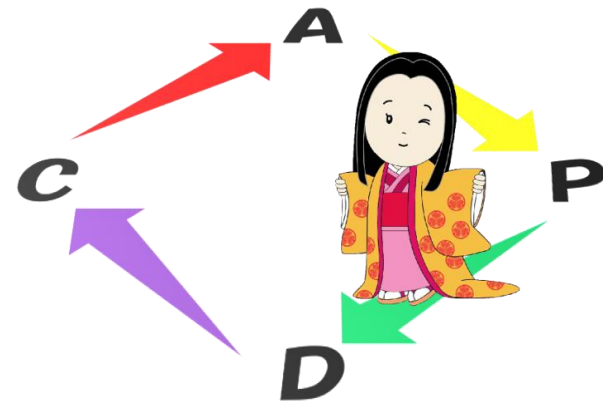
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
コミュニティ活動に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	27.0%	32.0%
自治会加入率	自治会に加入している世帯の割合	啓発活動を充実し、加入率の向上を目指す。	78.5%	85.0%
NPO登録団体数	県に登録する市内に本部のあるNPO法人団体数	NPO法人との連携により活動の活発化を図る。	11団体	15団体
審議会における女性の登用率	条例で規定された審議会における女性委員の割合	人材の発掘に努め登用率の向上を目指す。	25.8%	35.0%

令和2年度 of 取組状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

自治会は災害時などに重要な役割を持つため、若年層や転入者の加入を促すことは大切ではあるが、加入世帯を増やすことが最終目的ではないはずだ。自治会は災害時に重要な役割を果たすが、社会の変化に伴い住民の抱える課題も変化してきている。自治会で解決できない課題が増えてきているという認識も持って欲しい。NPO法人の育成による地域コミュニティの活性化には期待している。NPOの団体数や講座数を増やすことも大切だが、むしろ団体設立にあたる相談や指導、設立後のフォローも大切だと考える。男女共同参画については、具体的な取り組みが見えていない現状がある。若い夫婦宅では、男女共同参画が浸透しているように思う。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	NPO団体の事務事業	
担当	市民と共に考える課	事業の目的 所管する市町村が認証などの事務を行うことで、住民やNPO法人の利便性が向上し、NPO法人を含む地域コミュニティ活動の活性化を図る。
予算科目		

総合計画上の位置付け

施策の大綱	市民参画の推進
施策の目標	参画と協働の仕組みをつくり、活動の輪を広げる
施策	市民協働・コミュニティ活動・男女共同参画
施策の方向	市民協働の推進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	—
	うち 特定財源	—
成果目標		1 団体
実施内容と改善点		
団体設立の相談や指導を行っている。また、申請書や報告書の受理を行っており、毎月初に県へ報告をしている。また、令和3年度より、団体設立に興味のある方へ県主催のセミナーを案内すること、市広報の地域活動通信に団体活動を掲載し周知することで、団体数の増加を図るようにしている。		

令和2年度	決算額	—
	うち 特定財源	—
成果実績		1 団体
当初の成果目標		— 団体
実施内容と改善点		
団体設立の相談や指導、申請書や報告書の受理を行い、毎月月初に県へ報告した。令和2年度は新規にNPO団体が1団体設立された。		

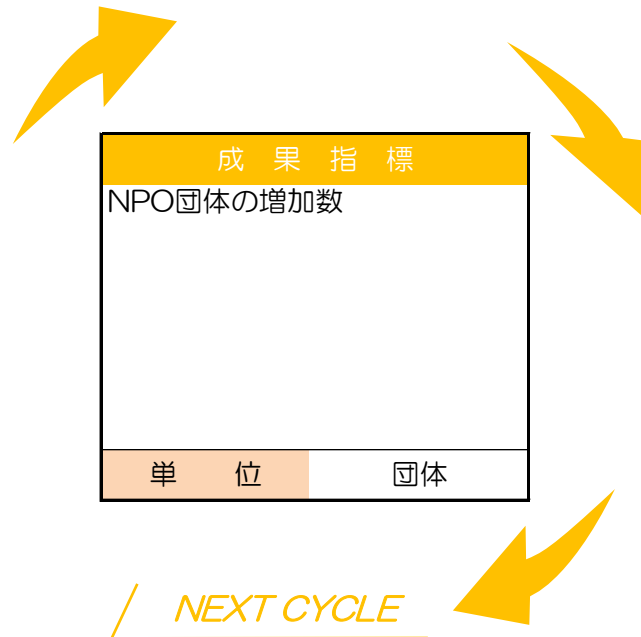
令和元年度	決算額	—
	うち 特定財源	—
成果実績		1 団体
当初の成果目標		— 団体

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	新規NPO団体が1団体設立されたが、2団体が解散手続き中であり、総数としては減少となる。
分析	団体運営の向上のため、必要な知識を県主催のセミナーなどで学べるよう案内しているが、市主催のセミナーを行ったことがないため、団体設立に興味がある方にセミナーを行うことで団体数を増やすことができると考える。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	—
	うち 特定財源	—
成果目標		— 団体
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度	令和6年度	
— 団体	— 団体	

事業の説明

事業名	市民協働研修事業			
担当	市民と共に考える課			
予算科目	一般会計			
	2款	1項	7目	1事業
事業の目的	市民・市民活動団体・事業者及び市が自主的な行動のもと、互いに良きパートナーとして連携し、自らの経験や知識、責任においてまちづくりに取り組むことを推進する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	市民参画の推進
施策の目標	参画と協働の仕組みをつくり、活動の輪を広げる
施策	市民協働・コミュニティ活動・男女共同参画
施策の方向	市民協働の推進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	20千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		15回
実施内容と改善点		
①まちづくり出前講座(45講座)を実施する。 ②市民協働研修として、組織運営向上セミナーを、NPO法人や新規設立に興味のある方を対象に実施する。 ※新型コロナウイルス感染状況を考慮し、リモートでの開催も検討する。		

令和2年度	決算額	0千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		10回
当初の成果目標		－回
実施内容と改善点		
①まちづくり出前講座(55講座)は、「自主防災組織について」と「介護予防活動」の2講座を10回実施した。 ②市民協働研修は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、開催しなかった。		

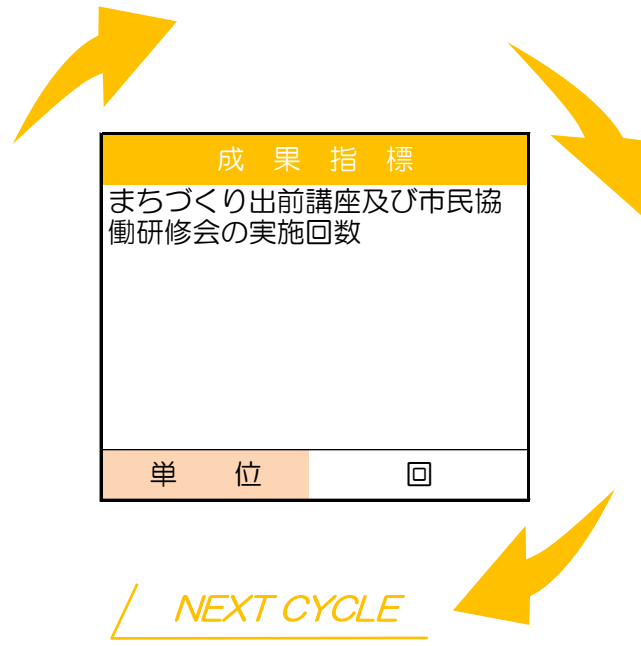
令和元年度	決算額	10千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		80回
当初の成果目標		－回

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	市民協働研修やまちづくり出前講座(55講座)は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、まちづくり出前講座のみ開催し、2講座計10回の開催に留まった。
分析	まちづくり出前講座は55講座あるが、毎年同じような講座のみが開催されている。フェイスブックやLINEなどのSNS等で定期的な情報発信を行うことで、市民の認知度を向上させる必要がある。また、需要の高い講座の厳選(活用のない講座の見直し)や、新たな取組としてリモート等による実施も検討の必要がある。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		回
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
回		回

事業の説明

事業名	自治会活動推進事業				事業の 目的	地域でのふれあいの輪を広げ、お互いに助け合い、連帯意識を高めるためのさまざまな活動を通じて、住みよい地域社会と豊かなまちづくりを推進する。
担当	市民と共に考える課					
予算科目	一般会計					
	2款	1項	13目	1事業		

総合計画上の位置付け

施策の大綱	市民参画の推進
施策の目標	参画と協働の仕組みをつくり、活動の輪を広げる
施策	市民協働・コミュニティ活動・男女共同参画
施策の方向	コミュニティ活動組織の育成と活動の活発化

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	32,200千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		65.0 %
実施内容と改善点		
①加入チラシを転入者へ配布し、各自治会に活動の活性化を啓発している。		
②各自治会へ助成金を交付している。		
③自治会ガイドブックを作成し、自治会の必要性や活動内容等を示して、加入の促進・活動の活性化を促す。		

令和2年度	決算額	32,088千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		65.1 %
当初の成果目標		- %
実施内容と改善点		
①加入チラシを転入者へ配布し、各自治会に活動の活性化を啓発した。		
②各自治会へ助成金を交付した。		

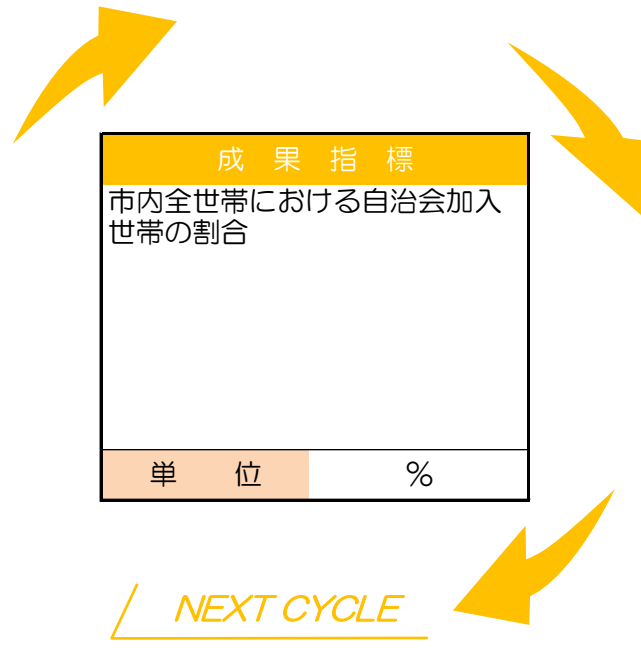
令和元年度	決算額	32,354千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		66.6 %
当初の成果目標		- %

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	自治会加入率は令和元年度から令和2年度に限らず、加入率は毎年減少している。
分析	少子高齢化、外国人世帯の増加及び1人世帯の増加に加え、地域住民の価値観の多様化や近隣関係の希薄化などにより、自治会等の活動に関心を持たない人が増えていることが大きな要因であると考えられる。また、自治会への理解・必要性の周知不足が考えられる。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

事業の説明

事業名	男女共同参画講演会等の開催			
担当	人権推進課			
予算科目	一般会計			
	2款	1項	8目	1事業
事業の目的	男女共同参画社会の実現に向け、講演会を通して市民の意識高揚を図る。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	市民参画の推進
施策の目標	参画と協働の仕組みをつくり、活動の輪を広げる
施策	市民協働・コミュニティ活動・男女共同参画
施策の方向	男女共同参画の推進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	150千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		100.0 %
実施内容と改善点		
オンラインにて男女共同参画講演会（テーマ アンコンシャスバイアスとダイバーシティ～誰もが暮らしやすい地域づくり～）の開催を予定。		

令和2年度	決算額	30千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		70.0 %
当初の成果目標		100.0 %
実施内容と改善点		
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会を中止した。その代替として、講演会講師に男女共同参画広報紙へ「ワークライフミックス」をテーマとした寄稿を依頼し、広報紙を全戸配布の上、啓発を行った。		

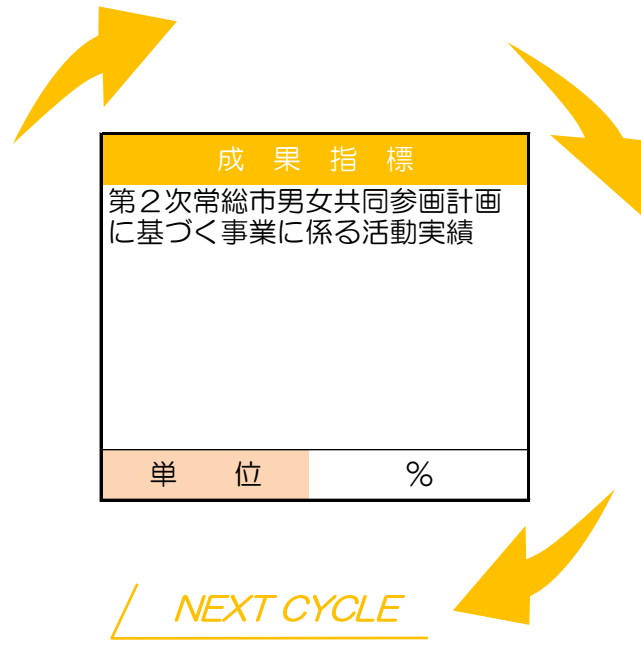
令和元年度	決算額	150千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		100.0 %
当初の成果目標		100.0 %

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	講演会は中止したが、広報紙を全戸配布することにより、より広く市民に啓発を図ることができた。
分析	事業を実施するには、臨機応変な対応が求められる。社会情勢に合わせた様々な手法による情報発信を検討していくことが、今後は必要と考える。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



成果指標	
第2次常総市男女共同参画計画に基づく事業に係る活動実績	
単位	%

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%